

# 2024年3月期 中間決算説明会

JBCCホールディングス株式会社  
証券コード:9889(東証プライム市場 情報・通信業)

2023年10月31日



# 会社概要

HARMONIZE  
by JB Group

社名 : JBCCホールディングス株式会社  
[東証プライム市場 情報・通信業 9889]  
設立 : 1964年4月1日  
資本金 : 47億13百万円  
社員数 : 1,986名 [有期社員を含む連結]  
事業会社: 10社  
(国内 47拠点、海外 4拠点)



首都圏オフィスを統合し、  
2023年2月より、  
東京ミッドタウン八重洲へ  
本社を移転

## お客様のDXを実現するITサービス企業グループ



### (4つの注力事業)

超高速開発

クラウド

セキュリティ

クラウドデータ連携

※2023年10月1日現在

# AGENDA

- 上半期決算概要  
および業績・配当予想

---

- 注力事業  
クラウド / セキュリティ / 超高速開発

---

- 人財への投資

## 注力事業が牽引し、売上・利益ともに二桁成長

対前年同期比 売上高+14.1%、営業利益+11.4%

## クラウド、セキュリティの継続成長により事業構造変革が加速

対前年同期比 新規の月額受注高 クラウド+73.6% セキュリティ+44.7%

## 業績・配当予想を上方修正

増減率 売上高+8.1%、営業利益+12.5%、当期純利益+13.3%

期末の配当予想 14円増

## 注力事業が牽引し、売上・営業利益ともに前年同期比二桁成長

(百万円)

	2024年3月期 期初公表値 (修正前)	2024年3月期 上半期実績	前年同期比	期初公表値に 対する進捗率 (修正前)
売上高	59,000	32,971	<b>+ 14.1%</b>	55.9%
営業利益	4,000	2,282	<b>+ 11.4%</b>	57.1%
経常利益	4,100	2,386	+ 9.9%	58.2%
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	2,850	1,693	+ 12.5%	59.4%

# 事業分野別の状況

注力事業の伸長に加え、システム分野の業績が計画を上回り、売上が二桁成長

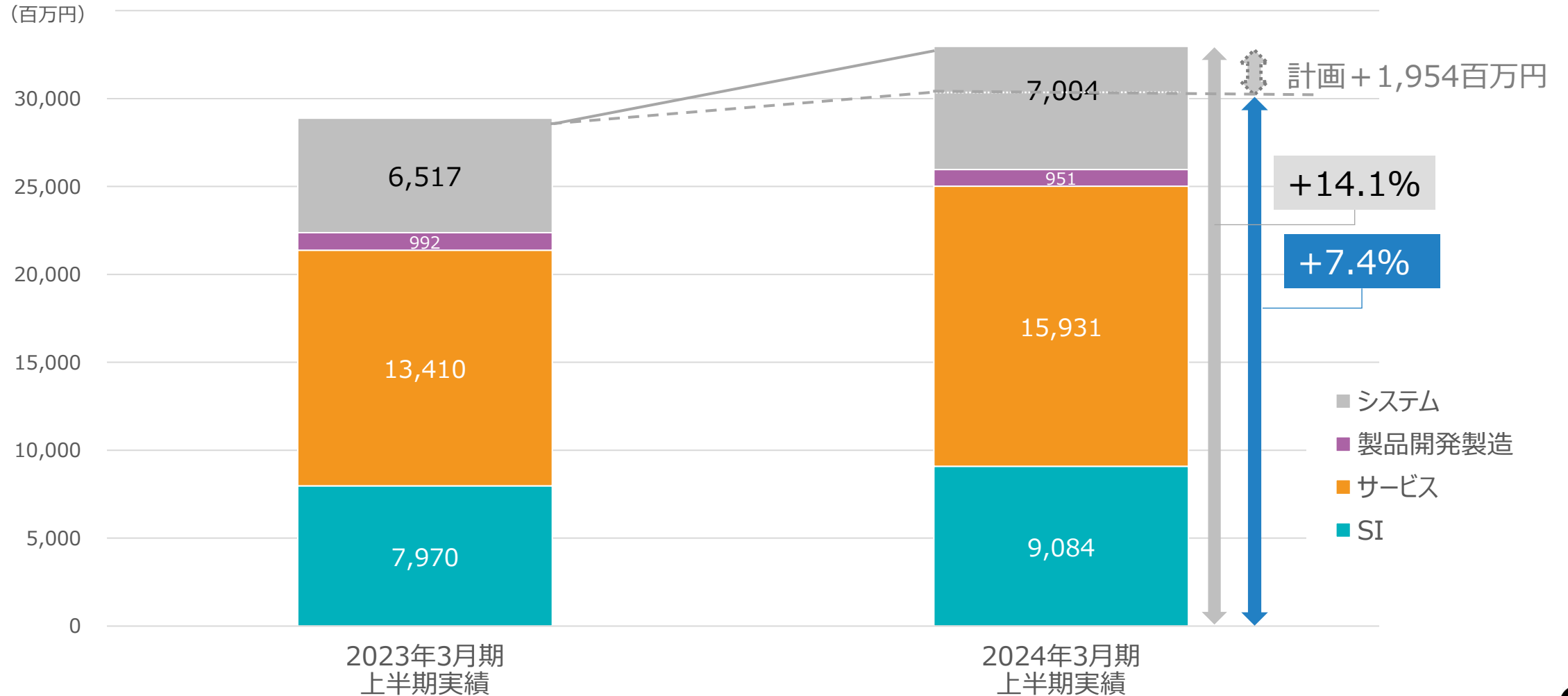
(百万円)

事業分野	売上高		売上総利益		売上総利益率	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
情報ソリューション	32,019	+14.8%	9,130	+10.3%	28.5%	-1.2pt
SI (超高速開発)	<b>9,084</b>	<b>+14.0%</b>	<b>3,052</b>	<b>+7.1%</b>	33.6%	-2.2pt
サービス (クラウド、セキュリティ)	<b>15,931</b>	<b>+18.8%</b>	<b>4,530</b>	<b>+10.3%</b>	28.4%	-2.2pt
システム	7,004	+7.5%	1,547	+17.4%	22.1%	+1.9pt
製品開発製造 (クラウドデータ連携)	951	-4.1%	602	-5.3%	63.3%	-0.8pt
合計	32,971	+14.1%	9,733	+9.2%	29.5%	-1.3pt

※( ) は各事業分野に含む注力事業を示す

# 事業分野別の推移

システム分野の売上が計画通りだった場合、前年同期比+7.4%



## 市場成長率を大きく上回るクラウド・セキュリティの継続成長により事業構造変革が加速

(百万円)

		2023年3月期	2024年3月期		2024年3月期 注力事業指標
		上半期実績	上半期実績	前年同期比	
超高速開発	SI全体に占める 超高速開発比率 ※1	61.8%	59.9%	-1.9pt	70%
	売上高	3,613	3,927	+8.7%	
	受注高	4,623	4,115	-11.0%	
クラウド ※2	売上高	2,250	3,292	+46.3%	CAGR 46% ※3
	新規の月額 受注高累計	75	<b>130</b>	<b>+73.6%</b>	
セキュリティ ※2	売上高	1,756	2,537	+44.4%	CAGR 42%
	新規の月額 受注高累計	65	<b>94</b>	<b>+44.7%</b>	
クラウドデータ連携	累計契約本数	1,279本	3,562本	+178.5%	10,000本

※1 「SI全体に占める超高速開発比率」は、システム開発に付随する運用保守や調達を除く売上高のうち、超高速開発による割合を示します。 ※2 クラウド及びセキュリティはストックビジネスです。 ※3 「CAGR」は年平均成長率です。



# 2024年3月期 通期業績予想/株主配当

計画を上回る好調な進捗を踏まえ、業績予想と期末配当を上方修正

(百万円)

	通期業績予想 修正前	通期業績予想 修正後	増減率	前期比
売上高	59,000	<b>63,800</b>	<b>+8.1%</b>	<b>+9.7%</b>
営業利益	4,000	<b>4,500</b>	<b>+12.5%</b>	<b>+19.5%</b>
経常利益	4,100	<b>4,600</b>	<b>+12.2%</b>	<b>+19.6%</b>
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	2,850	<b>3,230</b>	<b>+13.3%</b>	<b>+20.6%</b>

	2024年3月期予想 修正前	2024年3月期予想 修正後
中間配当	40円	40円
期末配当	40円	<b>54円</b>

# AGENDA

■ 上半期決算概要  
および業績・配当予想

---

■ **注力事業**  
クラウド / セキュリティ / 超高速開発

---

■ 人財への投資

HARMONIZE2023

注力事業

# クラウド

- ✓ 当社の取り組みと強み
- ✓ 今後の成長に向けて

# 国内クラウド市場データ・予測

クラウドファースト戦略企業/マルチクラウド環境企業の増加

## ➤ 国内パブリッククラウド 売上高/成長率

- 売上高  
2027年には、22年比約2.3倍の5.4兆円へ
- 2022-2027 CAGR

パブリッククラウド 全体	17.9%
IaaS	22.9%
PaaS	21.0%
SaaS	10.7%

掲載期間終了

出典：IDC Japan, 2023年9月「国内パブリッククラウドサービス市場 産業分野別予測、2023年~2027年」(JPJ49897423)

## ➤ クラウド市場 概況 DX 及びクラウド移行への投資 継続

- クラウド・ファースト戦略 企業の増加 71.1%
- マルチクラウド環境を構築する企業が増加 84.1%
- コストの最適化への期待

\*クラウドを優先的に採用する方針を取る企業

\*クラウド利用中の企業の中で複数クラウドを利用する割合

多くの企業はDX実践への変革が道半ばで、習得すべきスキルも多く残る

出典：IDC Japan, 2023年3月「国内パブリッククラウドサービス市場予測、2023年~2027年」(JPJ49209123)

# 外部からの評価

クラウド移行領域でMicrosoftパートナーオブザイヤー3年連続取得

## ◆Microsoft Azure Solution Assessments 受賞



-オンプレミスからAzureへの移行-  
この領域で3年連続は国内JBCC 1社のみ！

### 日本マイクロソフト社による表彰メッセージ全文

\*緑字化と下線は弊社実施

Azureビジネスの進化において、JBCCはACR YoY +90%という驚異的な成長を遂げています。その理由は、他社にはないクラウド移行コンサルテーションサービス(MSCAF準拠)を無償提供することで、綿密な現地調査からシステムのあるべき姿を提示し、5年、10年先を見据えた中長期的な視野に立ったロードマップを提供することにあります。また、コスト・ハイブリッド運用最適化に重点を置いたクラウド移行アセスメントも行っています。JBCCのサービスの優位性は、某鉄道業様のデータセンターからIaaS移行においてTCO50%削減を実現した事例や、クリニックやアセスメント実施など600社超の実績となります。

# お客様のDX推進に貢献する当社クラウドサービス

SaaS/IaaS それぞれに付加価値サービスを提供

HARMONIZE  
by JB Group

IaaS

## コスト削減を実現

- ✓ クラウドリフトのコストを30%削減実現する  
クラウド移行インフラクリニック
- ✓ 最適な運用・管理を24時間365日提供



運用 & 最適化付き  
クラウドサービス  
&  
セキュリティ

SaaS

## 投資対効果を最大化

- ✓ クラウド利活用/定着化を実現する  
DXワークショップ
- ✓ クラウド環境を最適化し、戦略的な投資へ

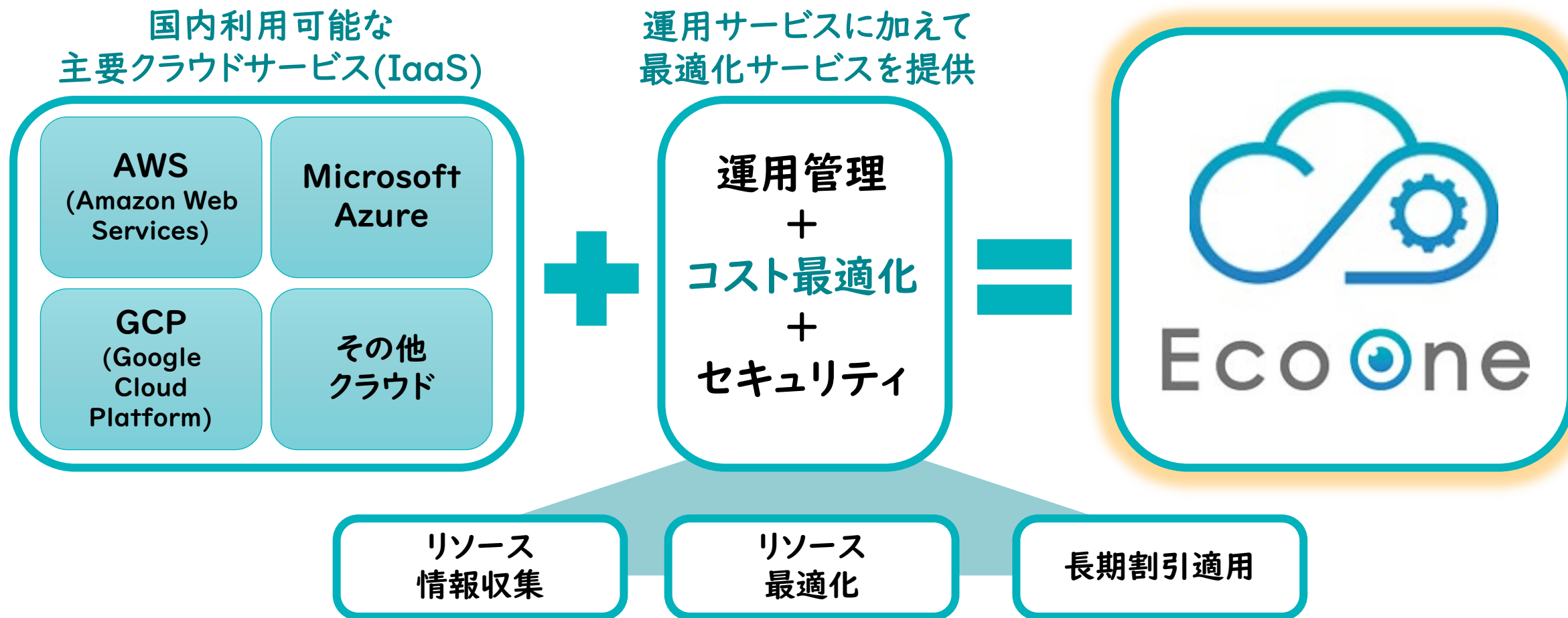


# マルチクラウド 運用最適化付きクラウドサービス EcoOne

平均30%のコスト削減実績

HARMONIZE  
by JB Group

一歩踏み込んだ運用・管理を提供し、お客様にとって最適な活用をお届けします



# SaaSの投資対効果最大化を実現するワークショップ

クラウド利活用/定着化を実現する伴走型サービス

HARMONIZE  
by JB Group

全体  
デザイン

## ✓ ITを美しくデザインする「クラウドデザインワークショップ」

SaaSサービスが増加してもクラウド環境を常に最適化し、戦略的投資とDX化実現を伴走

個別  
例1

## ✓ Microsoft 365 利活用ワークショップ

多機能化するMicrosoft 365製品をお客様のニーズに合わせて最大限の利活用を実現

個別  
例2

## ✓ kintone DX ワークショップ

現場の効率化とユーザー自身が部門毎の業務改善を実現するご支援（市民開発）



ワークショップ

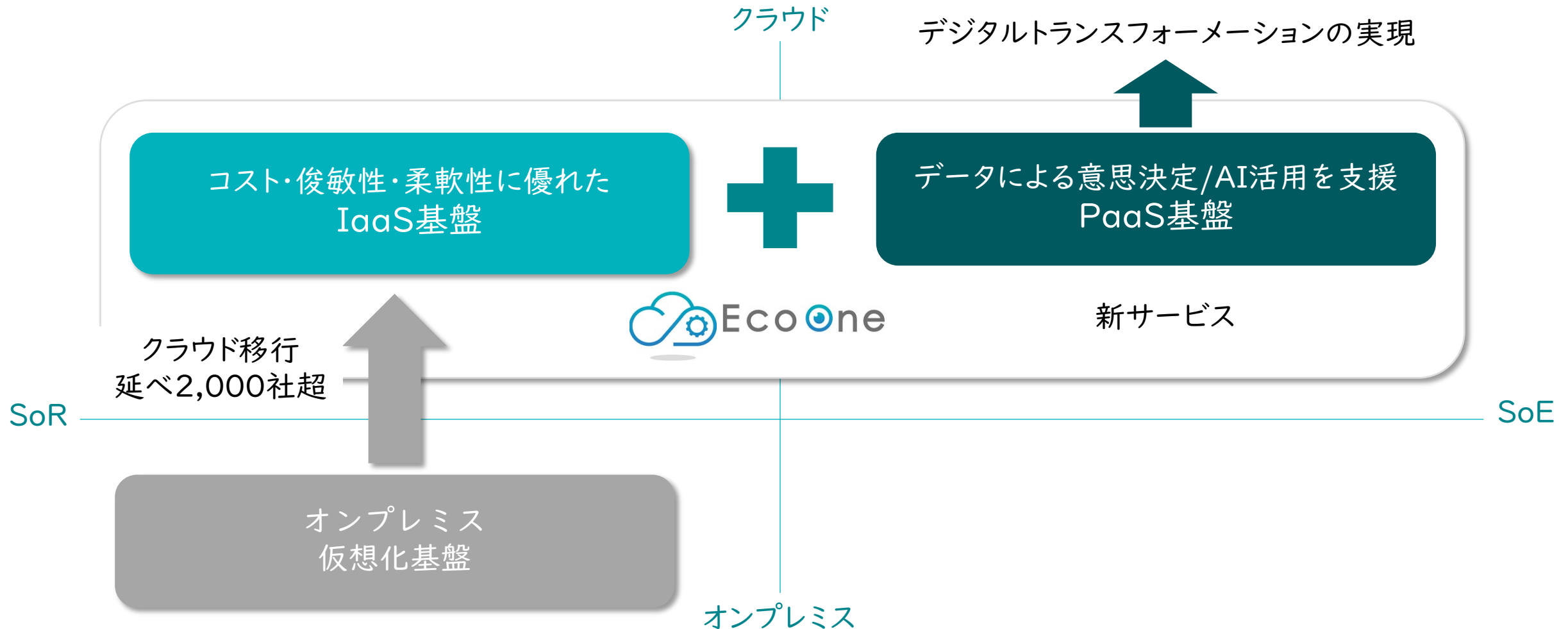


# さらなる成長に向けて“DX実現に向けたデータ/AI活用支援”

守りのITから攻めのITへの変革をご支援

HARMONIZE  
by JB Group

## クラウド移行の先にある「データ/AI活用」を支援



# お客様のDX実現をご支援する“データ活用ワークショップ”

「ビジネス課題」をデータ/AIを活用することでいかに解決するか

HARMONIZE  
by JB Group

「データ活用課題整理ワークショップ」で新技術/AIソリューションを使ったデータ活用のあるべき姿を提示

→経営課題、ビジネス課題の解決に向けたデータ活用をご支援

データ活用推進のためにコストパフォーマンスが改善した新技術/AIソリューションの活用が重要

→新技術/AIソリューションの適用方法と活用方法をご支援

## [データ活用課題整理ワークショップの一般的な流れ]

- ・お客様課題ヒアリング
- ↓
- ・ビジネス視点での課題優先順位整理
- ↓
- ・データ収集状況棚卸し
- ↓
- ・課題解決に必要なデータ分析手法整理
- ↓
- ・クラウドテクノロジー概要説明
- ↓
- ・分析難易度/コスト効果を考え取組みステップ決定

## [鉄道会社様での進め方 具体例（次頁参照）]

散在するExcelを収集し、収支の見える化を実現  
「非効率なExcel業務から脱却」

2024年の壁に向けたデータ分析による  
「鉄道/バス運行ダイヤ編成の精度向上」

人流分析などのデータ分析に取り組み  
「オーバーツーリズム解消へ」

# データ活用ワークショップからのデータ活用推進 具体的事例

ワークショップで「クラウドテクノロジーによるデータ活用ステップ」を整理、投資効果の高いデータ活用を実現

## [鉄道会社様の業務課題]

### ①ダイヤ作成業務の改善

- ・手作業によるダイヤ作成の効率化
- ・運転手不足解決のためのダイヤ精度の向上

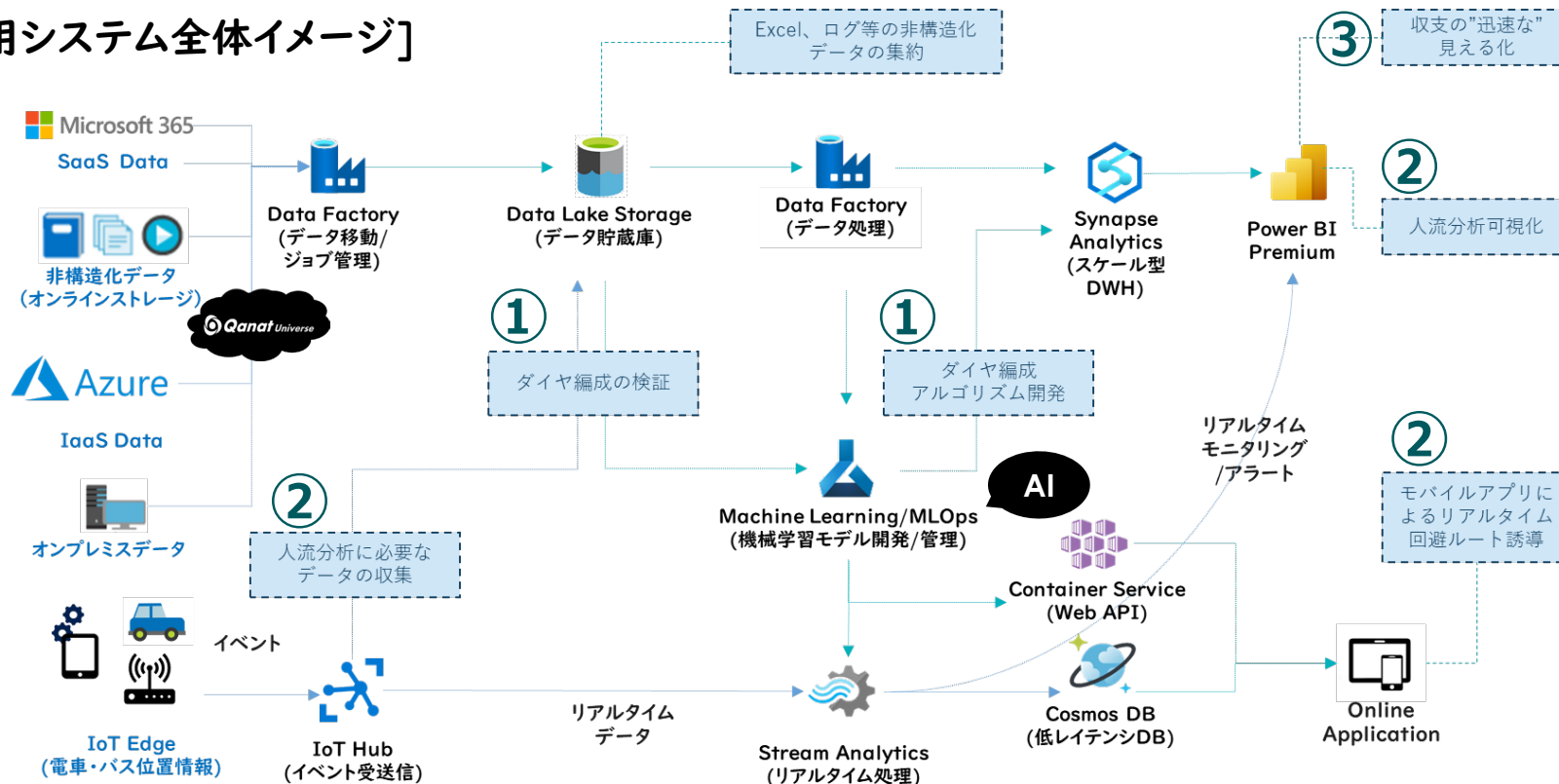
### ②オーバーツーリズムの解消

- ・観光客の特定地域集中による混雑/渋滞の解消

### ③経営判断の迅速化に向け 収支管理の実現

- ・手作業による非効率な収支管理業務の改善

## [鉄道会社様データ活用システム全体イメージ]

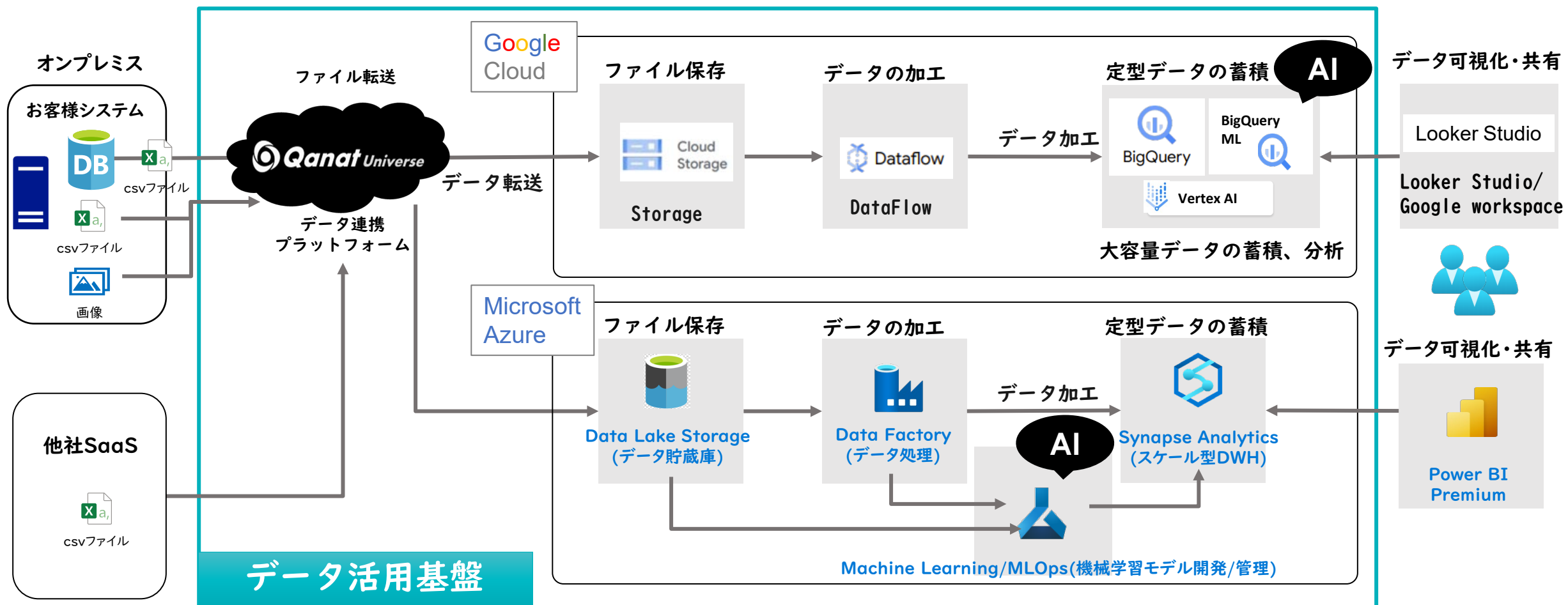


# データ活用のためのシステム連携ソリューション提供開始

Google Cloud プラットフォーム版(7月リリース)、Microsoft Azure版(9月リリース)

お客様環境⇔GCP/Azure間のファイル転送をVPN無しで安全な通信で実現

→データ収集/連携を迅速に実現。データ活用統合データベースを構築し、AIの活用を容易にする(\*オンプレミス側でデータ生成不要)



# クラウドサービス開発状況

ポートフォリオの継続的拡大 ( 紫字: 今期リリース済み / 緑字: リリース予定 )

利用検討

導入構築

運用

定着、利活用

IaaS / PaaS

SaaS

最適構成の選定  
コスト/投資対効果の  
最大化

ITモダナイゼーションクリニック  
クラウド移行アセスメント

データ活用ワークショップ

クラウド  
デザインワークショップ

Microsoft 365  
利活用ワークショップ

kintone  
DXワークショップ (ソムリエ等)

運用付きクラウドサービスで運用効率化  
安価で安定した運用の実現

EcoOne

Microsoft  
Azure

AWS

Google  
GCP

その他

運用オプション

- ・IaaS/PaaS監視
- ・バックアップ運用
- ・24時間365日運用
- ・クラウドセキュリティ運用

Qanat Universe for GCP/Azure

OpenAIスターターパック

データ活用基盤運用

コンテナ運用

Microsoft 365

バックアップ/監査ログ監視

外部ユーザー設定監視オプション

設定ポリシー監視オプション

導入構築支援による利用価値最大化

kintone  
開発支援

Dropbox  
導入・移行支援

セキュリティ設定  
監査

OBC/その他SaaS

継続的なコスト/構成  
見直し提案

コスト最適化サービス

定着化内製化支援

クラウド利用ガイドライン提供

データ活用支援  
データ分析PoC支援

Microsoft 365

- ・利活用定期ワークショップ
- ・Power BIレポート開発支援
- ・Power Platform導入支援
- ・M365 Cafe  
(活用促進、Copilot(生成AI)紹介等)

kintone

- ・なんでも相談(カスタマイズ支援等)
- ・キントーク(コミュニティ)

HARMONIZE2023

注力事業

# セキュリティ

- ✓ 当社の取り組みと強み
- ✓ 今後の成長に向けて

## ➤ 見える化サービス、マネージドサービスを拡充し、成長を継続

### ◇セキュリティ新規月額受注高 過去最大

- ✓ セキュリティリスクを可視化し、**全体提案**の実施
- ✓ 攻撃の変化に合わせて、**見える化サービス拡大・質の向上**
- ✓ セキュリティ**構築・運用・診断・監査**を網羅的にサービスで提供

国内セキュリティ市場の成長予測7.1%※1に対し市場の約6倍以上の成長

### ◇クラウド利用におけるセキュリティ大型案件の受注が成長を牽引

- ✓ **クラウドセキュリティ分野**が高成長（クラウドの伸長と共に）

※1 IDC Japan社は、「国内セキュリティ市場は2021年～2026年の年間平均成長率（CAGR:Compound Annual Growth Rate）は7.1%で成長すると予測」  
出典：IDC Japan, 2023年4月「2023年の世界セキュリティ市場は2,190億米ドルに成長」（JPJ50569323）

企業ごとに目指す姿を描き、対象範囲と優先順位を選定して進めていく  
ビジネス成長にあわせ対象範囲を広げていく(単体ではなく全体最適)

## 見える化サービス



- ・現状のセキュリティリスクを可視化
- ・お客様に合わせた対応方針の策定
- ・対応の優先順位を設定しロードマップを描く
- ・クラウドも含めたセキュリティ全体提案

見える化  
サービス

対策  
STEP1

STEP2

STEP3

あるべき  
姿

現状  
把握

実装

日々の  
運用

## セキュリティ環境の構築

- ・高品質なプロフェッショナルサービス
- ・マルチクラウド環境に対応

## マネージドサービスの 提供

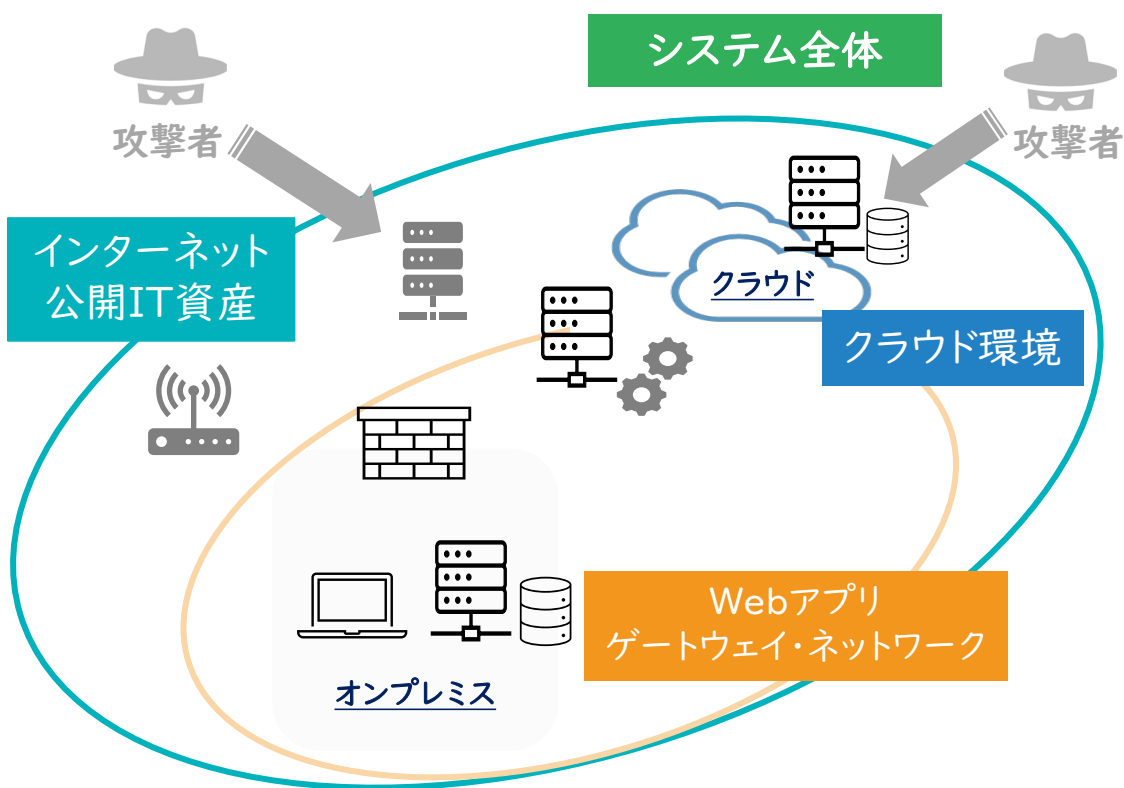
- ・セキュリティ監視、ログ保管、分析
- ・運用開始後も定期的な診断で改善



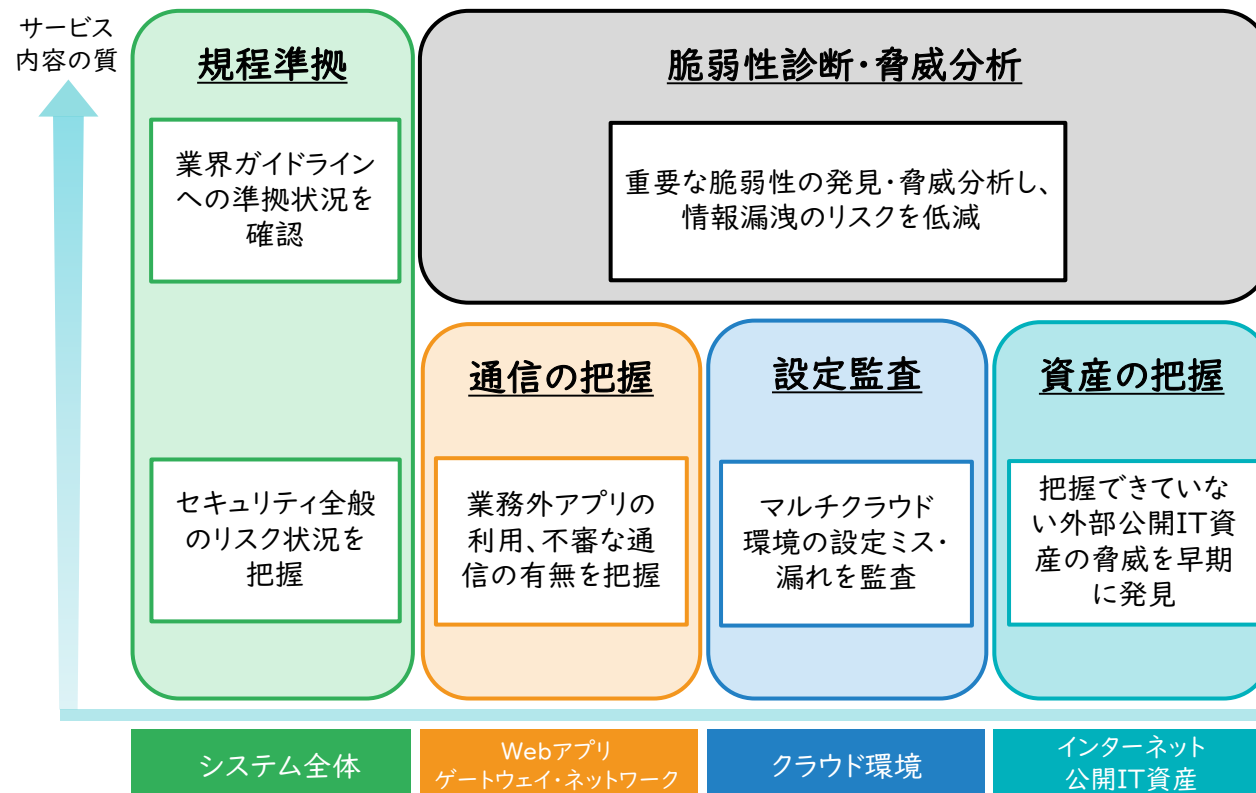
# JBグループの豊富な見える化サービスの活用

攻撃の変化にあわせて見える化サービスのカバーエリア拡大とサービス内容の質を向上  
業界ガイドラインへの準拠状況の確認要望が増加。サービスを拡充し、有償化

## 見える化サービスのカバーエリア

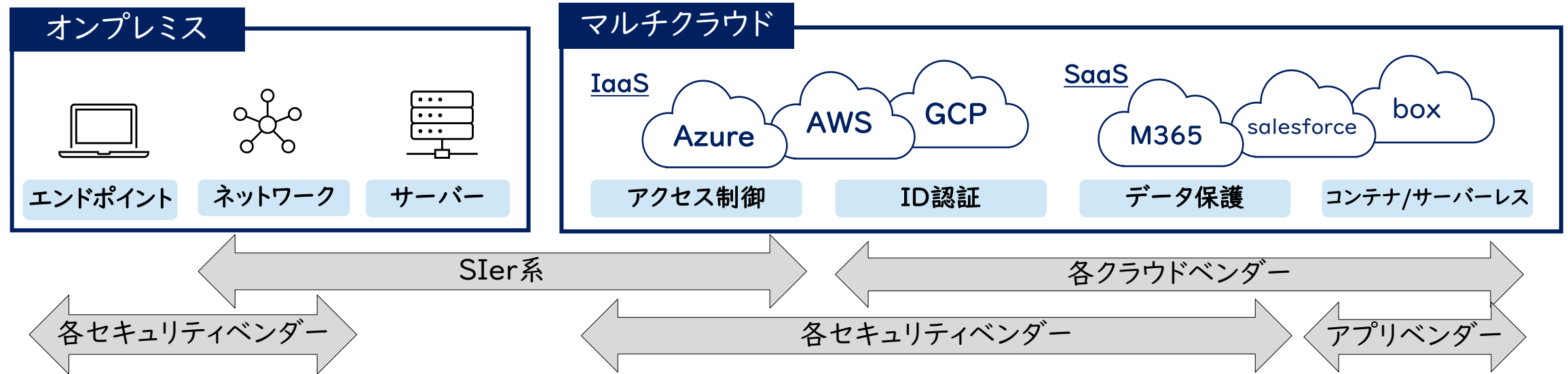


## 見える化サービスの内容



# 包括的なマネージドサービスの提供

業界トップクラスの資格を有したエンジニアがマルチクラウド・オンプレミス環境の包括的なセキュリティ構築・運用・診断・監査をサービスで提供



**JBグループ** (24時間365日体制の運用センター)

構築

監視・運用

診断

監査

# JBグループのセキュリティサービスの強みと今後の成長に向けて

マルチクラウド環境におけるクラウドセキュリティの対応力

HARMONIZE  
by JB Group

それぞれのクラウドの特徴をつかみ **マルチクラウド環境において最適なセキュリティ対策をご提案**

セキュリティガイドライン策定支援

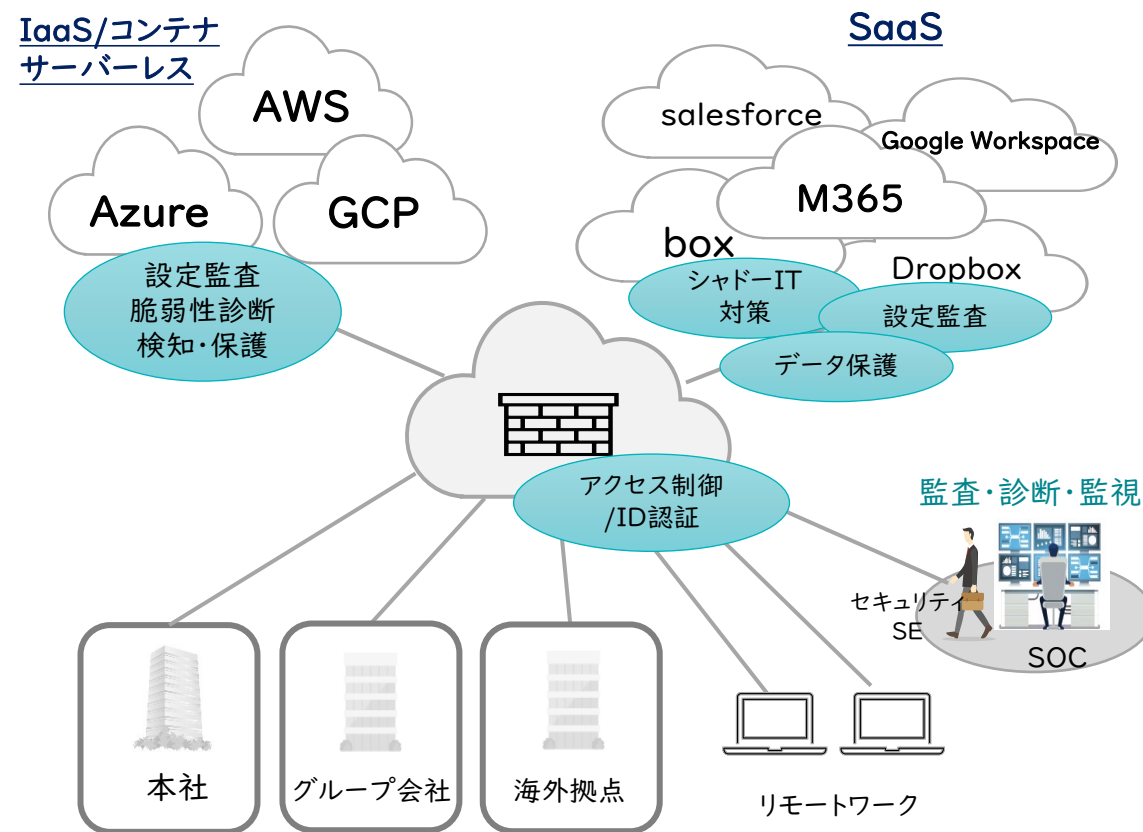
アクセス制御/シャドーIT対策/**データ保護**

設定監査 (IaaS/SaaS)

**脆弱性診断** (ホスト・コンテナ・サーバーレス)

24時間365日の運用による脅威の検知・保護

**AIを活用したマルチクラウド・ログ分析**



HARMONIZE2023

注力事業

# 超高速開発

- ✓ 当社の取り組みと強み
- ✓ 今後の成長に向けて

## ➤ 10億～20億円規模の開発案件を5件受注

食品業

食品卸業 3件

学習塾

学習塾 1件

鉄鋼業

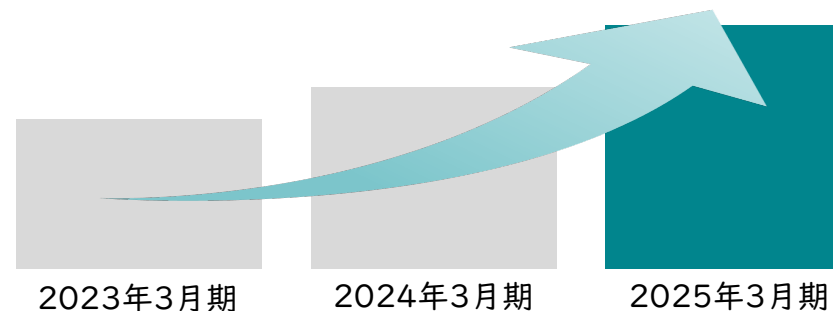
貴金属販売製造業 1件

建材業

### <お客様に評価されたポイント>

- ✓ 高品質、短納期、柔軟性  
JBアジャイルの強み
- ✓ 業界知識・業界標準  
JBマイクロサービス
- ✓ デザイン (UI/UX)

来期の期初確保高が過去最大



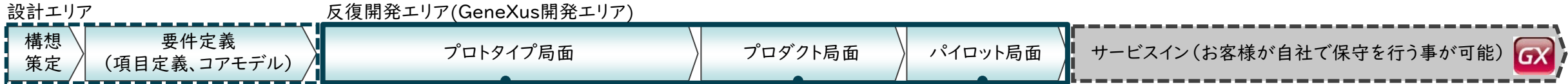
超高速開発は  
お客様の真の要件をあぶり出し、  
どこよりも高品質なシステムをどこよりも速くお届けします。



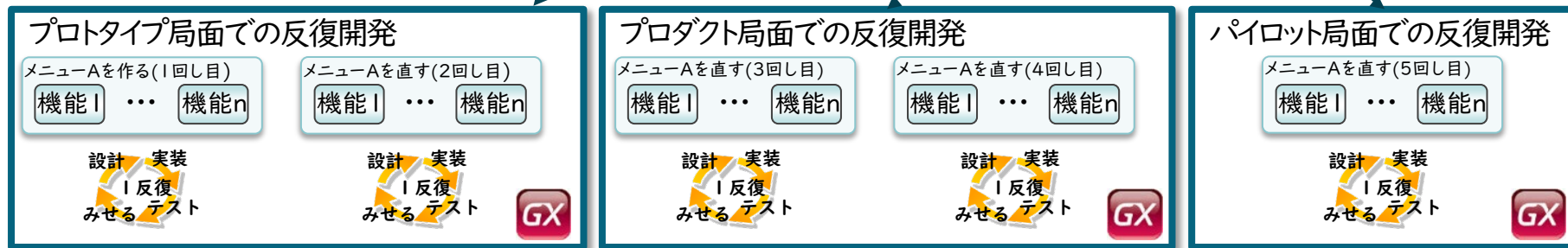
※ ローコード開発とは ソースコードを極力書くことなく「グラフィカル・ユーザー・インターフェース/GUI」という視覚的な操作を用いることで、短期間でのシステム開発を実現する手法です。

# 「JBアジャイル」とは？

## 「JBアジャイル」の開発フレーム



※5回のイテレーションで完成させる(繰り返していく)



## 「JBアジャイル」のポイント

- ✓ 『構想策定』実施による機能のスリム化
- ✓ 要件定義を実施することにより全体像を把握
- ✓ 開発単位を細分化し5回の反復開発を実施
- ✓ 反復開発を通じて要望を深掘り

## 「JBアジャイル」が生み出す価値

真の要件を抽出

お客様要望を実現  
(品質の高さを実現)

圧倒的  
開発スピード

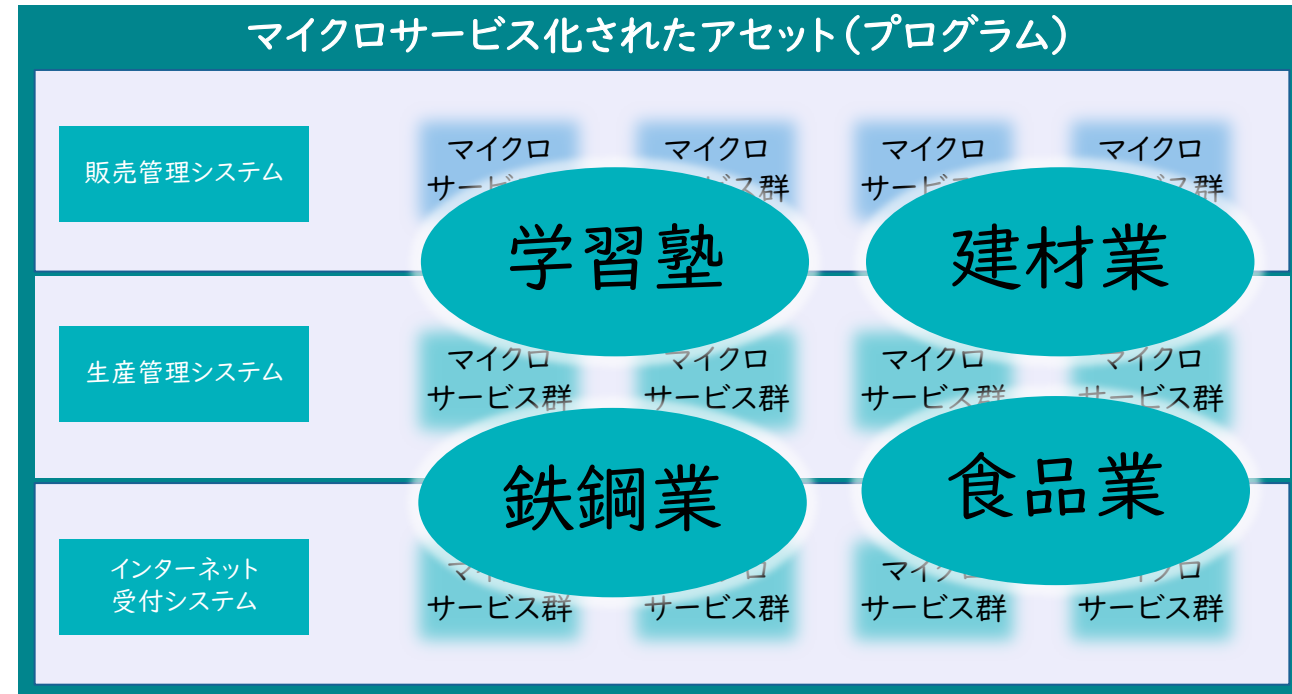
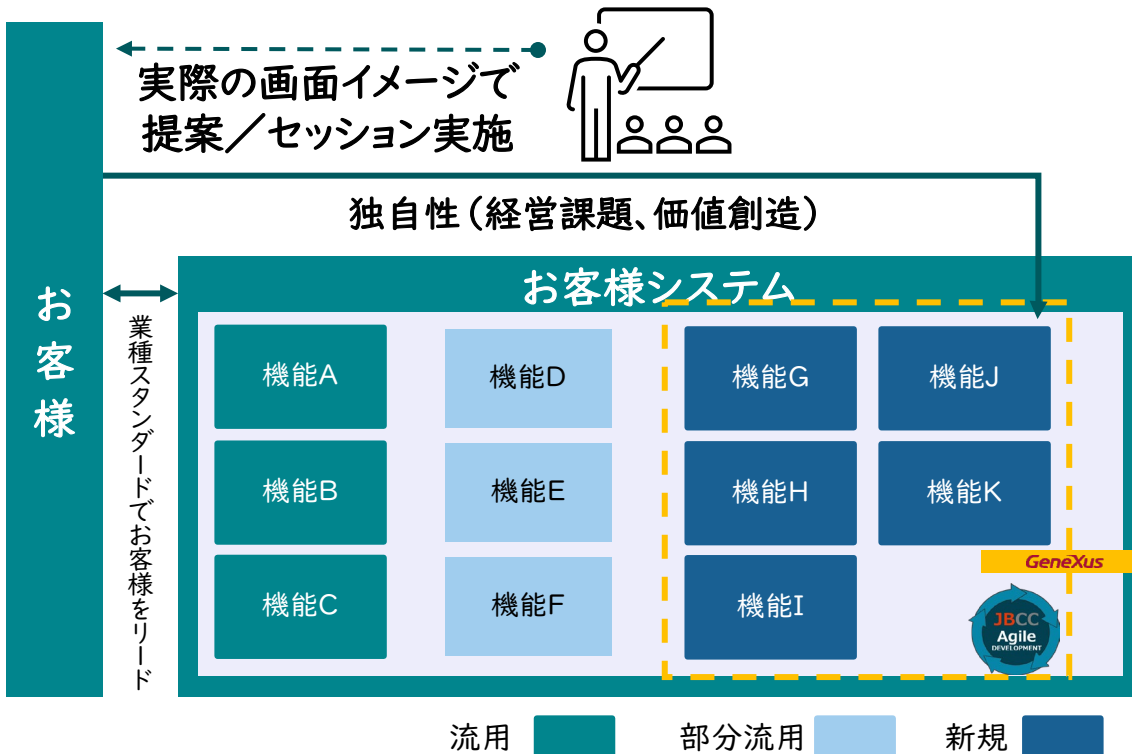
# アセットを「JBマイクロサービス」で標準化

## 案件の大型化に伴い、パッケージとの差別化を推進

- ✓ 特定業種を対象とした開発に注力
- ✓ アセットのマイクロサービス化
- ✓ デモ環境を整備し、パッケージに勝る提案を可能に

「JBマイクロサービス」とは

蓄積するアセット（プログラム）を細分化し、他案件への適合率を高める当社独自の取り組み





## ▶ 今後の取り組み

### JBマイクロサービスの成長

- ✓ 注力4業種のマイクロサービスを充実
- ✓ ビジネス状況により注力業種の追加／入替

### AIの活用

- ✓ 設計局面での活用
- ✓ テスト、品質検査での活用

### デリバリー体制の拡大

- ✓ 戦略パートナー施策の推進

生産性を高め  
利益率向上

品質向上

売上拡大

# 今後の成長に向けて

リソースの確保と戦略的パートナーの探索

## ➤ 戦略的パートナー企業拡大

✓ 協業による  
パートナー企業のメリット

手戻りリスクが  
少ない  
システム開発

高い生産性で  
高利益を享受

業務知識の  
向上  
若手エンジニア  
受け入れ

✓ 活動状況

60社をターゲットに活動中

今期目標 25社 100名

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
目標社数	25社	30社	35社	40社
確保人数	100名	145名	170名	200名

計73名がプロジェクトへ参画し習熟中、超高速開発案件の中核メンバーへと育成

# AGENDA

- 上半期決算概要  
および業績・配当予想
- 

- 注力事業  
クラウド / セキュリティ / 超高速開発
- 

- 人財への投資

# 継続して成長する力 — 人財への投資

## お客様、社員から選ばれ続ける、価値を創造する企業グループへ

### ■ “この会社で働きたい”人財の採用

- ・キャリア・再入社・複業<sup>(\*)</sup>受け入れ
- ・八重洲オフィス体験インターン、早期社員面談

### ■ 誰もが挑戦、成長できる機会の提供

- ・男女賃金格差84.2% (JBCCHDI 118.2%)
- ・女性管理職比率11%
- ・Team Building&SDGs海外研修

### ■ 自律した柔軟な働き方

- ・JBグループ働き方制度「Style J」

### ■ オープン&フラットコミュニケーション

- ・八重洲オフィス本社移転(2023年2月)
- ・エンジニア100人ラウンドテーブル
- ・経営/社員スポーツ交流 八重洲ジョギングクラブ  
延べ参加者:112名(4~10月)

働きがい  
機会の平等

挑戦・成長  
価値共創

心身の健康  
働きやすい  
環境

公平・公正な  
評価

### ■ 挑戦する企業文化の醸成

- ・社内外の複業推奨
- ・グループ会社間出向、技術・スキル交流

### ■ AI技術で価値創出、社会貢献へ

- ・社内起業「イノベース」AI基板検査
- ・カジュアルソーシャルアクション「deleteC」  
AI活用アプリ無償提供

### ■ 時間・年齢を問わない働き方

- ・成果主義の導入
- ・実質定年制の廃止

### ■ 業界トップクラスの給与水準

- ・日経ボーナス調査2023年度 夏4位<sup>(\*)</sup>
- ・上位50%昇給率6.12%(連合平均3.69%)

\*1 通常「副業」と記載しますが、「正」「副」の区別なく「複」数の働き方を実現することを意図し、「複業」と記載しています。

\*2 中核事業会社であるJBC株式会社の実績。業種「情報・通信業」での順位

## JBCCホールディングス株式会社 経営企画 [e-mail : ir@jbcc.co.jp]

### 資料についてのご注意

- ・本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本資料に記載されている将来の動向や業績等に関する見通しは、リスクと不確定な要素を含んだ予測であり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。